

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

朱書

寛政十一稔

御檢地野取御下札

爲人名寄帳北組

東
二月吉日 壹番

經濟學部
研究室
5
1447

經濟學部
圖書室
5
1447



39190.

又方

川島 幸次郎

一市細方

外方

元方

天保八月

一上月

元方

元方

名考

新考

一、田名考

一、田名考

一、田名考

一、田名考

一、田名考

一、田名考

一、田名考

一、田名考

一、田名考

一、田名考

田名考

朱書

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

朱書

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

朱書

一戊辰酉納辰方。

壬子辰方

壬子辰方

一戊辰酉納辰方。

壬子辰方

一戊辰酉納辰方。

壬子辰方

一戊辰酉納辰方。

壬子辰方

壬子辰方

一戊辰酉納辰方。

壬子辰方

一戊辰酉納辰方。

壬子辰方

一戊辰酉納辰方。

壬子辰方

壬子辰方

一戊辰酉納辰方。

壬子辰方

朱書

一戊辰酉綱

一壬辰辰

壬辰辰

朱

一戊辰酉綱

壬辰辰

朱

一戊辰酉綱

壬辰辰

壬辰辰

壬辰辰

壬辰辰

朱

一戊辰酉綱

壬辰辰

壬辰辰

朱

一戊辰酉綱

壬辰辰

壬辰辰

一戊辰酉綱

壬辰辰

朱書

女藩

一 女藩の御方

えん

女藩の御方

一 女藩の御方

えん

女藩の御方

一 女藩の御方

えん

女藩の御方

女藩

女藩

一 女藩の御方

女藩

一 女藩の御方

女藩の御方

女藩

一 女藩の御方

女藩の御方

女藩の御方

一 女藩の御方

女藩の御方

朱書

かんてい屋敷あり

○屋敷北町あり。主権あり

山相まゝいりあり

○山相北町あり。主権あり

中より

○中内八町あり。主権あり

竹田屋敷あり。主権あり

○竹田屋敷北町あり。主権あり

東下

○竹田屋敷北町あり。主権あり

竹田屋敷北町あり。主権あり

○竹田屋敷北町あり。主権あり

山相まゝいりあり

○山相北町あり。主権あり

山相

○山相北町あり。主権あり

山相まゝいりあり

○山相北町あり。主権あり

竹田屋敷北町あり。主権あり

○竹田屋敷北町あり。主権あり

朱書

竹園院字及飯粒字

二九因主飯粒字

南南

二九因主飯粒字

三九因主飯粒字

三九因主飯粒字

三九因主飯粒字

三九因主飯粒字

三九因主飯粒字

一

林書

南南之野亦下之

一 南南之野

是

一 南南之野亦下之

之野

一

一 南南之野亦下之

之野亦下之

一 南南之野亦下之

之野亦下之

之野亦下之

新田七郎左衛門

一 新田七郎左衛門

元禄

西分

新田七郎左衛門

一 新田七郎左衛門

元禄

西分

新田七郎左衛門

一 新田七郎左衛門

元禄

西分

新田七郎左衛門

一 新田七郎左衛門

元禄

西分

新田七郎左衛門

一 新田七郎左衛門

元禄

西分

新田七郎左衛門

一 新田七郎左衛門

元禄

西分

一 新田七郎左衛門

元禄

一 新田七郎左衛門

元禄

一 新田七郎左衛門

元禄

一 新田七郎左衛門

元禄

西分

酒の七取七角

一 新田五取七角 元徳系 西の方へ入

山相の取七角

一 新田五取七角 元徳系 成程方へ入

山相の取七角

一 新田拾九角 元徳系 北の方へ入

酒の七取七角

一 新田五取七角 元徳系 北の方へ入

山相の取七角

一 新田拾九角 元徳系 北の方へ入

酒の七取七角

一 新田五取七角 元徳系 北の方へ入

山相の取七角

一 新田拾九角 元徳系 北の方へ入

酒の七取七角

一 新田五取七角 元徳系 北の方へ入

山相の取七角

一 新田拾九角 元徳系 北の方へ入

酒の七取七角

一 新田五取七角 元徳系 北の方へ入

山相の取七角

上卷

一 井田之賦税

之田入 戊子年入

善之田入

之田入 戊子年入

一 井田之賦

之田入 戊子年入

之田入 戊子年入

一 井田之賦

之田入 戊子年入

之田入 戊子年入

一 井田之賦

之田入 戊子年入

之田入 戊子年入

一 井田之賦

之田入 戊子年入

之田入 戊子年入

下卷

一 井田之賦

之田入 戊子年入

上卷

一 井田之賦

之田入 戊子年入

之田入 戊子年入

一 井田之賦

之田入 戊子年入

川 櫻木不流

之田入 戊子年入

一 井田之賦

之田入 戊子年入

下卷

一 井田之賦

之田入 戊子年入

一 井田之賦

之田入 戊子年入

土奈

一、新田の取

之部、成る人入

善きものあり

之部、成る人入

一、新田の取

之部、成る人入

善きものあり

之部、成る人入

一、新田の取

之部、成る人入

善きものあり

之部、成る人入

一、新田の取

之部、成る人入

善きものあり

之部、成る人入

一、新田の取

之部、成る人入

之部、成る人入

土奈

一、新田の取

之部、成る人入

土奈

一、新田の取

之部、成る人入

善きものあり

一、新田の取

之部、成る人入

川

一、新田の取

之部、成る人入

土奈

一、新田の取

之部、成る人入

朱書

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

山細六郎七郎

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

元禄

○新細六郎七郎

山廻六段七丁

○山廻新廻路少

九段

大段新廻路少

山廻新廻路少

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

○山廻新廻路少

九段

久保田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

○中田... 元禄三年...

朱書

朱書

東より家松下り

一由二八歩

○之屋

文庫書林

南角三歩

一上由拾九歩

○之屋

リ

一上由三歩

之屋

一上由三歩

川

一上由三歩

○之屋

川原尾主事書云云

一、下相書云云。元物盡。在矣

山岡家下月

一、五新相書十八卷。元物盡。在矣

山岡家下月

一、五新相書拾遺。元物盡。在矣

山岡家下月

一、五新相書。元物盡。在矣

山岡家下月

一、五新相書。元物盡。在矣

山岡家下月

一、五新相書。元物盡。在矣

山岡家下月

一、五新相書。元物盡。在矣

神國下

一、五新相書。元物盡。在矣

之海國

一、五新相書。元物盡。在矣

川原尾主事書云云

一、五新相書。元物盡。在矣

川原尾主事書云云

一、五新相書。元物盡。在矣

孫氏

王田侯

之田侯
王田侯

中田二侯

之田侯
王田侯

中田三侯

之田侯
王田侯

中田四侯

之田侯
王田侯

中田五侯

之田侯
王田侯

中田六侯

之田侯
王田侯

中田七侯

之田侯
王田侯

中田八侯

之田侯
王田侯

中田九侯

之田侯
王田侯

中田十侯

之田侯
王田侯

中田十一侯

之田侯
王田侯

之平進
三平進
三平進

元程第 古 清

之善三叔
云原と云ふに人

元禮系
白以江

之
 市
 市
 市

[illegible]

主陽子久入
主陽子久入
主陽子久入

王保子 鉄馬六

之々事
大原より小倉へ入
右の部
勢うて

元氣堂
之由也
古以孝
王侯將相

元長
五保中節

三ノ人 在りぬ人

石物志

五夜今古

三ノ
古
ノ
大

多岐川

朱書

いんていふくたふく　　いんていふく
いんていふくたふく　　いんていふく
いんていふくたふく　　いんていふく
いんていふくたふく　　いんていふく
いんていふくたふく　　いんていふく

朱書

いんていふくたふく　　いんていふく
いんていふくたふく　　いんていふく
いんていふくたふく　　いんていふく
いんていふくたふく　　いんていふく
いんていふくたふく　　いんていふく

秋田県下

二力国主殿

山田公殿

一西新桐

文政十一年

右殿

久保田公殿

二力国主殿

山田公殿

一西新桐

文政十一年

春芳

二力国主殿

一西新桐

二力国主殿

一西新桐

二力国主殿

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

山田と云ふ所なり

元嘉三年

二月朔日

元嘉三年

山田と云ふ所なり

元嘉三年

元嘉三年

三月朔日

山田と云ふ所なり

二月朔日

元嘉三年

元嘉三年

三月朔日

元嘉三年

山田と云ふ所なり

二月朔日

元嘉三年

山田と云ふ所なり

三月朔日

元嘉三年

山田と云ふ所なり

二月朔日

元嘉三年

山田と云ふなり
二 山田の煙草

元金
山田の煙草

三 山田の煙草

元金
山田の煙草

四 山田の煙草

元金
山田の煙草

五 山田の煙草

元金
山田の煙草

山田の煙草

六 山田の煙草

山田

元金
山田の煙草

七 山田の煙草

元金
山田の煙草

八 山田の煙草

元金
山田の煙草

山田の煙草

九 山田の煙草

元金
山田の煙草

山田の煙草

十 山田の煙草

元金
山田の煙草

九十九年九月廿五日

一、日本の国の名を記す。

二、日本の国の名を記す。

三、日本の国の名を記す。

四、日本の国の名を記す。

五、日本の国の名を記す。

六、日本の国の名を記す。

七、日本の国の名を記す。

八、日本の国の名を記す。

九、日本の国の名を記す。

十、日本の国の名を記す。

十一、日本の国の名を記す。

十二、日本の国の名を記す。

十三、日本の国の名を記す。

十四、日本の国の名を記す。

十五、日本の国の名を記す。

十六、日本の国の名を記す。

十七、日本の国の名を記す。

十八、日本の国の名を記す。

九十九年九月廿九日

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

一、田舎の田舎。之を

田舎の田舎

朱書

川中流九町三丁の川中流

一丁 細川

元々上

二丁 細川

元々上

三丁 細川

元々上

四丁 細川

元々上

五丁 細川

元々上

六丁 細川

元々上

七丁 細川

元々上

八丁 細川

元々上

九丁 細川

元々上

十丁 細川

元々上

十一丁 細川

元々上

十二丁 細川

元々上

十三丁 細川

元々上

十四丁 細川

元々上

十五丁 細川

元々上

十六丁 細川

元々上

十七丁 細川

元々上

十八丁 細川

元々上

十九丁 細川

元々上

二十丁 細川

元々上

二十一丁 細川

元々上

二十二丁 細川

元々上

二十三丁 細川

元々上

二十四丁 細川

元々上

二十五丁 細川

元々上

二十六丁 細川

元々上

二十七丁 細川

元々上

二十八丁 細川

元々上

朱書

川中流の歌まゝに

○一五個拾七ふ

えんえん 王保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 十右衛門造りあり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 右のりりりり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

道園派

南角

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

○一五個拾七ふ

えんえん 三保子と親交あり

朱書

一 蘭新烟部移元産清在部人
 二 蘭新烟部移元産清在部人
 三 蘭新烟部移元産清在部人

一

冊

一 蘭新烟部移元産清在部人
 二 蘭新烟部移元産清在部人
 三 蘭新烟部移元産清在部人
 四 蘭新烟部移元産清在部人
 五 蘭新烟部移元産清在部人
 六 蘭新烟部移元産清在部人
 七 蘭新烟部移元産清在部人
 八 蘭新烟部移元産清在部人
 九 蘭新烟部移元産清在部人
 十 蘭新烟部移元産清在部人

補正の事

一 西新編を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

海

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

一 万国を以て

朱書

○赤松山内 山内赤松

○山内赤松 元禄

文化十三年 辰巳入

山内赤松

○山内赤松 元禄

辰巳新八入

中ノ内 山内赤松

○山内赤松 元禄

文化十四年 辰巳入

山内赤松

○山内赤松 元禄

辰巳

山内赤松

○山内赤松 元禄

文化十四年 辰巳入

山内赤松

○山内赤松 元禄

辰巳

山内赤松

○山内赤松 元禄

文化十四年

辰巳新八入

山内赤松

○山内赤松 元禄

文化十四年

辰巳新八入

山内赤松

○山内赤松 元禄

文化十四年

辰巳新八入

山内赤松

○山内赤松 元禄

文化十四年

辰巳新八入

山内赤松

文化十四年 辰巳新八入

朱書

宿三ノ内

一 東新相二所取正少 文政三十九年八月

井田三ノ内 内書下西書

一 中国書取正少 文政三十九年八月

小三ノ内書下西書

一 上ノ内書取正少 文政三十九年八月

宿三ノ内

一 東新相取正少 文政三十九年八月

井田三ノ内 内書下西書

一 中国書取正少 文政三十九年八月

宿三ノ内

一 東新相取正少 文政三十九年八月

井田三ノ内

一 中国書取正少 文政三十九年八月

宿三ノ内

一 東新相取正少 文政三十九年八月

井田三ノ内

一 中国書取正少 文政三十九年八月

宿三ノ内

一 東新相取正少 文政三十九年八月

井田三ノ内

一 中国書取正少 文政三十九年八月

川島氏より書

一 川島氏より書

元物

二 川島氏より書

元物 川島氏より書

三 川島氏より書

元物

四 川島氏より書

元物

五 川島氏より書

元物

六 川島氏より書

元物

七 川島氏より書

元物

八 川島氏より書

元物

九 川島氏より書

元物

十 川島氏より書

元物

十一 川島氏より書

元物

十二 川島氏より書

元物

十三 川島氏より書

元物

十四 川島氏より書

元物

十五 川島氏より書

元物

十六 川島氏より書

元物

十七 川島氏より書

元物

十八 川島氏より書

元物

十九 川島氏より書

元物

二十 川島氏より書

元物

上國之町七ヶ

元也

新八

上國之町六ヶ

元也

上國之町五ヶ

元也

上國之町四ヶ

元也

上國之町三ヶ

元也

上國之町二ヶ

元也

上國之町一ヶ

元也

上國之町

元也

上國之町

元也

上國之町

元也

上國之師。

天竺寺

新八

一、中國之進步。

无印良品

文化ニ其當ルヲ定
ムルヲ爲スニ在リテハ
右ノ新日ヲ入
ルニ在リテハ

上国二所

元豐

方寸動り入

百兩

无產者

石口新ワケ入

一、國勢之

无咎

方寸

一新田町

元博之

乃曰

一新頌三國志

元帝

又江文安公集

一、下例作爲

之聖之

方

[illegible]

元春

天地間有大功人

文成子厚
孝順成

朱書

1. 竹園院 竹園院
 2. 竹園院 竹園院
 3. 竹園院 竹園院
 4. 竹園院 竹園院
 5. 竹園院 竹園院
 6. 竹園院 竹園院
 7. 竹園院 竹園院
 8. 竹園院 竹園院
 9. 竹園院 竹園院
 10. 竹園院 竹園院

朱書

朱書

1. 竹園院 竹園院
 2. 竹園院 竹園院
 3. 竹園院 竹園院
 4. 竹園院 竹園院
 5. 竹園院 竹園院
 6. 竹園院 竹園院
 7. 竹園院 竹園院
 8. 竹園院 竹園院
 9. 竹園院 竹園院
 10. 竹園院 竹園院

竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院
 竹園院 竹園院

朱書

山家

一 中 國 八 咫 歩

川 多 尾

二 一 月 細 路 歩

川 多 尾

三 一 月 細 路 歩

川 多 尾

四 一 月 細 路 歩

川 多 尾

五 一 月 細 路 歩

山 家

一 中 國 八 咫 歩

二 一 月 細 路 歩

三 一 月 細 路 歩

四 一 月 細 路 歩

五 一 月 細 路 歩

山 家

中 國 八 咫 歩

一 中 國 八 咫 歩

山 家

川 多 尾

二 一 月 細 路 歩

山 家

三 一 月 細 路 歩

山 家

川 多 尾

四 一 月 細 路 歩

山 家

五 一 月 細 路 歩

山 家

川 多 尾

朱書

山家

一 中 国 八 咫 奈 子。

川 第 九

一 月 細 砂 粉 留 奈

り 能 二 母 子 二 母 子

一 月 細 砂 奈

主 下

一 中 国 三 咫 奈 子

久 遠 用 二 母 子 二 母 子

一 中 国 三 咫 奈 子

山 家

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

文 代 記 奈 子 奈 子

一 月 細 砂 奈

文 代 記 奈 子

文 代 記 奈 子

一 月 細 砂 奈

文 代 記 奈 子

一 月 細 砂 奈

文 代 記 奈 子

一 月 細 砂 奈

文 代 記 奈 子

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

一 月 細 砂 奈

朱書

朱

北乃佳矣

江ノ口

えり

古ノ口

江ノ口

中ノ口

江ノ口

川ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

八

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

江ノ口

朱書

朱

中田良家

元久

古田良家

中田良家

元久

古田良家

中田良家

元久

中田良家

元久

中田良家

元久

中田良家

元久

八

中田良家

元久

古田良家

中田良家

元久

古田良家

中田良家

元久

古田良家

朱

中田良家

元久

古田良家

中田良家

朱書

物以類聚

五

一、五、四、三、二、一

吳昌碩

二力月如聲

一、柳之子。

一、南門外七家

香田云々

一、**書田** 以爲後序

上田之収七斗 八斗

田にふたぢえり

土佐

沈八

元

寬弘三年
秋八月

乞人

氣海集

天化八

文化上全好移人

石鼓子文

新八分入

七

中國書

元平三

文化子弟
文海子弟

—

朱書

竹田侯

一 竹田八郎格

元禄九年

古の如く西郷

朱田侯

元禄九年

一 竹田六郎格

元禄九年

外 朱田侯

朱田侯

一 竹田五郎格

元禄九年

古の如く西郷

朱田侯

一 竹田四郎格

元禄九年

古の如く西郷

朱書

朱
一 田中

文庫

中野

一 田中

中野

田中

一 田中

中野

田中

一 田中

中野

田中

一 田中

中野

田中

一 田中

中野

田中

一 田中

中野

田中

一 田中

中野

田中

一 田中

中野

中野

田中

一 田中

中野

朱書

力知

二七 症 治 方

吳昌碩印

二 社 會 學

酒只飲三五

二 補遺

崑

新刊

嶺

一
西
竹
王
山
為
松
山
寺

山溪記

一、田賦

學

一、

阿比多

一 上四

善美堂女字內

二、五、七、九、十一、十三、十五、十七、十九、二十一、二十三、二十五、二十七、二十九、三十一、三十三、三十五、三十七、三十九、四十一、四十三、四十五、四十七、四十九、五十一、五十三、五十五、五十七、五十九、六十一、六十三、六十五、六十七、六十九、七十一、七十三、七十五、七十七、七十九、八十一、八十三、八十五、八十七、八十九、九十一、九十三、九十五、九十七、九十九、一百。

古如原

二 新田家

文化回廊

文化研究所

文化なる

之任集

古之為政

名譽
有

三

永平三年

元方乃
あふ屋
あふ屋
あふ屋

寶曆三年庚申

毛為之
 安所常
 毛為之
 毛為之
 毛為之

卷之五 實錄五十七文

卷之五 弟次入

元德乃實政之實也
文化之實也

朱書

お馬屋のり

上田の取次

えき

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

お馬のり

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

お馬

上田の取次

えき

寛政二年

寛政二年

朱書

一畝

吳家巷下

田三郎

又も湯をさし

文者曰家言
二日桐
式四

打

中島 勲 彦 彦
九 彦 彦
三 彦 彦

一

二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

五十二

二 昌和郎

一
○
乙
用
力

一五 烟砂以拾之

幼童

二〇五 酒 夢 花 子

中

[illegible]

卷之四

[illegible]

即此王三

常陸土佐三郎之印

女界

762.

124

東京大学経済学図書館所蔵 5-Z分類古文書 5507680303

朱書

Handwritten text in cursive script, likely a list or account. The text is written on a piece of paper that is slightly tilted and has some staining. The characters are fluid and connected, typical of cursive calligraphy. There are several lines of text, some starting with a vertical line, possibly indicating a list or a series of entries. The paper is aged and has a yellowish tint.

Handwritten text in cursive script, likely a list or account. The text is written on a piece of paper that is slightly tilted and has some staining. The characters are fluid and connected, typical of cursive calligraphy. There are several lines of text, some starting with a vertical line, possibly indicating a list or a series of entries. The paper is aged and has a yellowish tint.

朱書

山

一西新祖之取。

之十

又化十字、字々々々

古

山新祖之取

一西新祖之取

古

山新祖之取

一西新祖之取

古

山

一西新祖之取

古

山

一西新祖之取

古

山新祖之取

古

山新祖之取

古

一西新祖之取

古

一

一

山

一西新編三歌。

之十

山

一西新編二歌抄本。

又化字、家系、入

山

一西新編三歌抄本。

又化字、家系、入

山

一西新編四歌抄本。

又化字、家系、入

山

一西新編五歌抄本。

又化字、家系、入

一西新編六歌抄本。

一西新編七歌抄本。

又化字、家系、入

一西新編八歌抄本。

又化字、家系、入

一

一

久保田

二、田舎七歩。

三、田舎

常法

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

三、田舎七歩。三、田舎七歩。三、田舎七歩。

朱書

一、乃在新田縣八ヶ岳之麓
古本
 二、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 三、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 四、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 五、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 六、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 七、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 八、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 九、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 十、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在

新書

一、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 二、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 三、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 四、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 五、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 六、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 七、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 八、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 九、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在
 十、乃在新田縣八ヶ岳之麓
乃在

朱書

景

一、田舎の地を、之より

十

二、田舎の地を、

之より、又、之より、

三、田舎の地を、

四、田舎の地を、

之より、又、之より、

五、田舎の地を、

之より、又、之より、

六、田舎の地を、

之より、又、之より、

七、田舎の地を、

八、田舎の地を、

之より、又、之より、

九、田舎の地を、

十、田舎の地を、

之より、又、之より、

十一、田舎の地を、

十二、田舎の地を、

之より、又、之より、

十三、田舎の地を、

十四、田舎の地を、

之より、又、之より、

十五、田舎の地を、

十六、田舎の地を、

之より、又、之より、

朱書

竹園院

九段下

二力田之取

○元物

古

多富田

二力田之取

古

池下

二力田之取

○主書

古

木

二力田之取

○主書

古

多富田

二力田之取

○主書

古

多富田

二力田之取

○主書

古

多富田

二力田之取

○主書

古

多富田

二力田之取

○主書

古

多富田

二力田之取

○主書

古

多富田

二力田之取

○主書

古

文化

古

朱書

右に示す如きなり

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

之に依りて中内
之に依りて入

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

一、廿五箇の取分。之を素

心取分

一、廿五箇の取分。之を素

之に依りて中内
之に依りて入

朱書

清東七堅下角

二、田之町を以て。

陳子美

此後三王少子

二、相二の

寬政十二

流田水脈各屯下內各取水樣

二月十五日

電聲未痛入

果之服法
八卜角

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

有

川東虎 壬辰年六月

一、**烟**、**毒**、**井**、**索**。

卷之五

井田家七内、子孫、西和彦

二王國芝田

大夢元龍界
五子之族亦行

五言古詩

新刊

方々如石仲義

卷之四

之

元世宗

川金虎 孝愛 下 ぬ

一、因

天保八年

是二也

丁巳仲夏

王介甫

朱書

川島氏家傳より
一、**神祇** 天孫
天孫降臨

天孫降臨
天孫降臨
天孫降臨

豊名

中田家

天孫降臨
天孫降臨
天孫降臨

川島氏家傳より
一、**神祇** 天孫
天孫降臨
天孫降臨
天孫降臨

中田家

川島氏家傳より
一、**神祇** 天孫
天孫降臨
天孫降臨
天孫降臨

川島氏家傳より
一、**神祇** 天孫
天孫降臨
天孫降臨
天孫降臨

川島氏家傳より
一、**神祇** 天孫
天孫降臨
天孫降臨
天孫降臨

川島氏家傳より
一、**神祇** 天孫
天孫降臨
天孫降臨
天孫降臨

朱書

久田三郎左衛門

上田三郎左衛門

中田三郎左衛門

一 中田三郎左衛門

川原三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

元九

上田三郎左衛門

中田三郎左衛門

一 中田三郎左衛門

川原三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

上田三郎左衛門

中田三郎左衛門

一 中田三郎左衛門

川原三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

一 上田三郎左衛門

Handwritten notes on a strip of paper, likely a bookmark or a separate page, with vertical text.

つるぎをさす世なり

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

えりりり

えりりり

えりりり

えりりり

えりりり

えりりり

えりりり

恒七

つるぎをさす世なり

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

一ツ根最ハ多。

えりりり

えりりり

えりりり

えりりり

えりりり

えりりり

朱書

○*Handwritten text*

Handwritten text

○*Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

○*Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

○*Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

○*Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

○*Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten signature

○*Handwritten text*

○*Handwritten text*

○*Handwritten text*

○*Handwritten text*

○*Handwritten text*

○*Handwritten text*

○*Handwritten text*

一 中田出八が 元禄京

宿方舟也内

一 新相也舟 元禄京

山相也舟也内

一 新相也舟 元禄京

元禄京

元禄京

一 中田出八が 元禄京

元禄京

井田

元禄京

一 上田出八が 元禄京

元禄京

一 上田出八が 元禄京

元禄京

一 上田出八が 元禄京

元禄京

井田

元禄京

一 中田出八が 元禄京

元禄京

一 上田出八が 元禄京

元禄京

一 上田出八が 元禄京

元禄京

一 上田出八が 元禄京

元禄京

一 上田出八が 元禄京

元禄京

朱書

山相三つ九のち
二つ新桐様子

元長馬
元馬

文徳寺三つ新桐様子
石口新桐様子

久留米家子

新平

一九田四郎下

元長馬
文徳寺三つ新桐様子

河原屋

文徳寺三つ新桐様子
文徳寺三つ新桐様子

一九新桐様子

元長馬
天保寺三つ新桐様子

久留米家子

一九新桐様子

元長馬
天保寺三つ新桐様子

山相三つ九のち

一九新桐様子

元長馬
文徳寺三つ新桐様子

朱書

山細幸平の月

一。新細王殿の書。えり入

川田屋

一。細王殿の書。えり入。天保の所々々々

云保王殿の所々々々

山細幸平の月

一。細王殿の書。えり入

えり入。えり入

えり入。えり入

傳法書

山細幸平の月

一。細王殿の書。えり入

えり入。えり入

山細幸平の月

一。細王殿の書。えり入

えり入。えり入

山細幸平の月

一。細王殿の書。えり入

えり入。えり入

山細幸平の月

一。細王殿の書。えり入

朱書

第百一十回

● 柳之方。えんき

第百一十回

● 柳之方。えんき

第百一十回

● 柳之方。えんき

えんき

● 柳之方。えんき

第百一十回

● 柳之方。えんき

えんき

第百一十回

● 柳之方。えんき

えんき

第百一十回

● 柳之方。えんき

えんき

第百一十回

● 柳之方。えんき

第百一十回

● 柳之方。えんき

第百一十回

● 柳之方。えんき

えんき

第のちのりり

一 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

二 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

三 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

四 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

五 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

六 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

七 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

八 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

九 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

十 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

十一 田舎の家
文庫中 新書

井田のちのりり

十二 田舎の家
文庫中 新書

第の六巻下り内

一 中国の歴史 文政七申 卷下り

井田の歴史 文政七申 卷下り

二 中国の地理 文政七申 卷下り

三 中国の政治 文政七申 卷下り

四 中国の文化 文政七申 卷下り

五 中国の宗教 文政七申 卷下り

六 中国の風俗 文政七申 卷下り

七 中国の言語 文政七申 卷下り

八 中国の文学 文政七申 卷下り

九 中国の美術 文政七申 卷下り

十 中国の科学 文政七申 卷下り

十一 中国の法律 文政七申 卷下り

十二 中国の経済 文政七申 卷下り

十三 中国の社会 文政七申 卷下り

十四 中国の教育 文政七申 卷下り

大英一千九百零九年

一 名由廿七分

李
雲
辰
子

吳江校印

二 公田之數亦七步

石

山前
日新
萬壽
文

文の申渡すに 重政の注言を

中國之未來

不

一中國以

李惟允中書

卷之五

李和之愛吟詩

中國
之
書

之夢乃
天福元年九月

二、南之

陸
天
新
之

一、田主

文虎云云 仙舟

王明道

元寇之
文記
長

作曰境云云

十、田、力、價、材、無、少、元、事、受、文、受、方、今、
大、政、七、陳、新、文、各、五、所、

下田村に於てある人
ある

一、田中四子
久松義典
久松義典

[illegible]

下
元之

元久
有
元久
有

五
三
二
一

えりく 青豆かめ

云保の如く改定

朱書

卷下

一、**細田** （？）

（？）

（？）

二、**細田** （？）

（？）

（？）

三、**細田** （？）

（？）

（？）

四、**細田** （？）

（？）

（？）

健

一、**細田** （？）

（？）

二、**細田** （？）

（？）

三、**細田** （？）

（？）

四、**細田** （？）

（？）

五、**細田** （？）

（？）

脱落付箋

七
乙未年十月
子月廿三日
申時

○^{やう}田^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

○^川原^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

○^山原^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

漢^の所^は少^し

○^竹田^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

○^山原^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

○^山原^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

○^山原^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

○^山原^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

○^山原^の所^は少^し

元^は右^の方^に入^る

治民之

好義之

一。仁。相。主。要。之。事。

仁。主。要。之。事。

二。仁。教。格。古。之。事。

仁。主。要。之。事。仁。主。要。之。事。

三。仁。主。要。之。事。

四。仁。主。要。之。事。

五。仁。主。要。之。事。

六。仁。主。要。之。事。

仁。主。要。之。事。仁。主。要。之。事。

仁。主。要。之。事。

仁。主。要。之。事。

仁。主。要。之。事。

仁。主。要。之。事。仁。主。要。之。事。

朱書

陳集

川島屋
一箇教
廿六步。
元后
天保
丁亥
孫
大

夕々

川原屋敷の由
一屋敷の由

えんたう

又のて中二千は入

川原屋敷の由

えんたう

又のて中二千は入

川原屋敷の由

えんたう

又のて中二千は入

川原屋敷の由

えんたう

又のて中二千は入

えんたう

又のて中二千は入

川原屋敷の由

夕々

川原屋敷の由

一屋敷の由

又のて中二千は入

えんたう

又のて中二千は入

又のて中二千は入

川原屋敷の由

一屋敷の由

夕々

えんたう

又のて中二千は入

川原屋敷の由

一屋敷の由

又のて中二千は入

えんたう

又のて中二千は入

古書

川原屋前へゆ

一 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 玉紀いふ 美あろいふ

リ木にあらゆ

二 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

三 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

一 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

乃貴

一 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

えんたろ 美あろいふ

一 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

乃貴

一 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

乃貴

一 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

えんたろ 美あろいふ

乃貴

一 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

えんたろ 美あろいふ

乃貴

一 乃貴之殿ナニナ。 えんたろ 美あろいふ

えんたろ 美あろいふ

いづら
○**細** えりく

南へ用ひ及ぶ事あり 天保三三三入

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

天保三三三入

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

えりく

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

いづら

○**細** えりく

虎房切阿弥記

寛政五年辛酉年

一、南無

二、南無

三、南無

四、南無

五、南無

六、南無

七、南無

南妙軒

井ノ田 三郎 八郎

三郎 八郎

大和八

川原屋敷下

一 相持たふ

えええ

おれおれおれ

朱家

一 敵にふ

えええ

おれおれおれ

結田

一 田にふ

えええ

おれおれおれ

川原屋敷

一 相持たふ

えええ

おれおれおれ

おれおれおれ

朱書

一 田田田田

元正多

一 田田田田

元正多

元正多

元正多

一 田田田田

元正多

元正多

朱書

一 田部 田部

元長子 實隆 京 京 京

一 田部 田部

元長子 實隆 京 京 京

一 田部 田部

元長子 實隆 京 京 京

一 田部 田部

元長子 實隆 京 京 京

一 田部 田部

元長子 實隆 京 京 京

一 田部 田部

元長子 實隆 京 京 京

井田四郎右衛門

一 田新格四郎

えんきり

主化ん子侍作人

えんきり

一 田新格五郎

えんきり

右同以月人

一 田新格六郎

えんきり

右同以月人

一 田新格七郎

えんきり

右同以月人

一 田新格八郎

えんきり

右同以月人

一 田新格九郎

えんきり

右同以月人

一 田新格十郎

えんきり

右同以月人

若之

田新格

一 田新格

えんきり

一 田新格

えんきり

一 田新格

えんきり

右同以月人

一 田新格

えんきり

右同以月人

一 田新格

えんきり

右同以月人

一 田新格

えんきり

右同以月人

一 田新格

えんきり

右同以月人

えんきり

右同以月人

山細六以少内

二西新細三少内

文政四已

九法信

三信のたより

淳平即人

淳平即

山細六以少内

二西新細三少内

文政四已

文政四已

文政四已

文政四已



三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 中桐 山乃毛子 之屋集

省

一、新制敵之步

景

一、新桐子歌一首

嶺南志

一西新田王取字少 名唐美 石

清氣

朱書

清集

三十一回書

一 柳 山陽志 元正集

二 柳 山陽志 元正集

三 柳 山陽志 元正集

一 柳 山陽志 元正集

二 柳 山陽志 元正集

一 柳 山陽志 元正集

二 柳 山陽志 元正集

一 柳 山陽志 元正集

一 柳 山陽志 元正集

朱書

田家子

西軒主人
元

後集卷之八

法秀

川原所為

一、**柳** 成 如 家 子 云。

五保三憂以去火

元手書

山相

一 西新田之飯廿之五

范家書局

之

一屋貴王殿紅雲步
古堂中後書入

新用

三

二 宇宙空步。

ちよんちやん

文政二夜存内

山相はあつた

一 石新相王那多。えんき

天龍王は海客入
三條八はうろく

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

天龍王

一 上田路長。えんき

天龍王

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

一 上田路長。えんき

天龍王は長中入

朱書

山相のり内

一石新相王町方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

文秀

一上田路七方。んほろ

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

井田山のみり内

一上田路七方。んほろ

朱書

南箱

一 中箱 取手 下 主書

右書

長書 取手 下 主書

二 中箱 取手 下 主書 右書

赤書 取手 下 主書

右書

一 中箱 取手 下 主書

右書

少箱 取手 下 主書

右書

一 西箱 取手 下 主書

右書 文政三辰 取手 下 主書

少箱 取手 下 主書

右書

一 中箱 取手 下 主書 右書 文政三辰 取手 下 主書

少箱 取手 下 主書

右書

一 中箱 取手 下 主書

右書 文政三辰 取手 下 主書

少箱 取手 下 主書

右書

一 中箱 取手 下 主書

右書 文政三辰 取手 下 主書

少箱

取手 下 主書

右書

文政三辰 取手 下 主書

右書

少箱 取手 下 主書

右書

右書

少箱

一 中箱 取手 下 主書

右書 文政三辰 取手 下 主書

朱書

南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

一。南無阿弥陀仏。下。左。右。

朱書

山田山田山田山田
一酒新細山田山田

元九山田
長久山人

九山

山田山田山田山田

一酒新細山田山田

山田山田山田山田

一酒新細山田山田

山田山田山田山田

一酒新細山田山田

山田山田山田山田

一酒新細山田山田

長久山人
山田山田山田山田

あしき

一 中国に
ありては

えきなり
きりきりきりきり

一 中国に
ありては

えきなり
きりきりきりきり

一 中国に

ありては

えきなり
きりきりきりきり

一 中国に

ありては

えきなり
きりきりきりきり

朱書

花柳病のやくも



一 花柳散れん少

朱丹堂

本井山王様御朱印

花柳病のやくも

元禄三年

内山山王様御朱印

日影久

花柳病のやくも

花柳病のやくも

朱丹堂

二 花柳散れん少

朱丹堂

一 花柳散れん少

朱丹堂

一 花柳散れん少

花柳病のやくも

花柳病のやくも

朱書

○ 田七取
○ 田六取
○ 田五取
○ 田四取
○ 田三取
○ 田二取
○ 田一取

朱書

田七取

田六取

田五取

田四取

田三取

田二取

田一取

田七取

田七取
田六取
田五取
田四取
田三取
田二取
田一取

朱書

一 中田三郎 文化大蔵 移す人

二 中田三郎 文化大蔵 移す人

三 中田三郎 文化大蔵 移す人

一 中田三郎 文化大蔵 移す人

一 中田三郎 文化大蔵 移す人

一 中田三郎 文化大蔵 移す人

一 中田三郎 文化大蔵 移す人

一 中田三郎 文化大蔵 移す人

一 中田三郎 文化大蔵 移す人

一 中田三郎 文化大蔵 移す人

朱書

一 竹田 蔵丸。元江連

文海堂蔵

中江氏蔵書。下内子孫下蔵書

一 竹田 蔵丸。元江連

文海堂蔵

山崎氏蔵書

一 竹田 蔵丸。

元江連

文政蔵書

山崎氏蔵書

一 竹田 蔵丸。

元江連

文政蔵書

山崎氏蔵書

一 竹田 蔵丸。

元江連

文政蔵書

一 竹田 蔵丸。

元江連

文政蔵書

山崎氏蔵書

梅屋下

一。梅屋下

天保九年

惣八

一

右内

梅屋下

一。梅屋下

天保九年

一。梅屋下

天保九年

天保九年

梅屋下

一。梅屋下

天保九年

梅屋下

一。梅屋下

天保九年

梅屋下

一。梅屋下

天保九年

梅屋下

一。梅屋下

天保九年

朱書

朱書

南を渡す七十四

一 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

川 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

二 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

三 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

四 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

五 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

六 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

七 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

八 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

南を渡す七十四

南を渡す七十四

一 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

二 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

三 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

四 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

五 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

六 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

七 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

八 南を渡す七十四 元々 文化 七十四

朱書

世田 三つたてり

惣入

一 世田

えきち

あきち北きち入

二 世田

えきち

えきち北きち入

三 世田

えきち

えきち北きち入

あきち北きち入

えきち

あきち北きち入

行

因

一 世田

えきち

二 世田

えきち

三 世田

えきち

あきち北きち入

えきち

えきち

えきち

朱書

卷八

前房下馬

一
西
新
田

市、鼎下成、西平、人

亥

一

作世下成事

費玄之

莊客下內

一
力
病
小

病少肉

二九

梁武帝

李

朱書

朱書

朱書



箱底下一角

一。箱底一角。之底。其底。其底。

移玉書

一。箱底一角。之底。其底。其底。

箱底下一角

一。箱底一角。之底。其底。其底。

箱底下一角

一。箱底一角。之底。其底。其底。

朱書

申人

朱書

右の如き事なり

一 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

二 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

三 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

四 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

五 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

六 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

七 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

八 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

九 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十一 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十二 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十三 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十四 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十五 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十六 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十七 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十八 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

十九 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

二十 田舎の事。是れ是れ。丁卯申の事。

朱書

五平

山田 招き
招き 招き

山田 招き
招き 招き

山田 招き
招き 招き

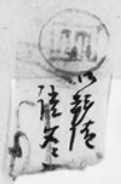
山田 招き
招き 招き

招き 招き

招き 招き

招き 招き

招き 招き



朱書

左の書は下由

山田

之書

寛政二戌海老名
子孫永代に

朱

山田

之書

右の書は
右の書は

招き原派の家系下由

之書

右の書は
右の書は

山田

招き原派の家系下由

之書

右の書は
右の書は

山田

右の書は
右の書は

朱書

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 柳と成る方。

えきり
右

一 新田を以て

えきり
古

一 新田を以て

えきり
古

一 新田を以て

えきり
古

一 新田を以て

えきり
古

一 新田を以て

えきり
古

一 新田を以て

えきり
古

一 新田を以て

えきり
古

一 新田を以て

えきり
古

一 新田を以て

えきり
古

朱書

らんちやうしき及んちやうしき

○中田九郎

えきん

きんぎょのりやうしき

漢文

漢文

箱屋白

一 柳 柳 柳

えきん

きんぎょのりやうしき

箱屋白

一 柳 柳 柳

えきん

きんぎょのりやうしき

箱屋白

一 柳 柳 柳

きんぎょのりやうしき

きんぎょのりやうしき

朱書

一、（？）...

二、（？）...

三、...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

元々

山細き木なりしなり

一、山細き木拾得て之を賣る 文徳天皇

細き木なり

天保七年申年春より入

二、山細き木なり

元禄八年 文徳天皇

三、山細き木なり

天保七年申年春より入

天保七年申年春より入 延暦寺より入

利安

山細き木なり

元禄八年 文徳天皇

二、山細き木なり

元禄八年 文徳天皇

三、山細き木なり

元禄八年 文徳天皇

四、山細き木なり

元禄八年 文徳天皇

五、山細き木なり

元禄八年 文徳天皇

天保七年申年春より入

朱書

山細のりり

一 国書細書

元禄五年

元禄五年

元禄五年

一 中国書

元禄五年

元禄五年

元禄五年

元禄五年

元禄五年

一 中国書

元禄五年

元禄五年

元禄五年

朱書

一 中国書

元禄五年

元禄五年

元禄五年

一 中国書

元禄五年

元禄五年

朱書

卷之五

山相安江口
一相安江口

一、朱氏柳氏

一、不、不、不

上田新

○ 新烟

之西
堂
之
人

古風
之義

齊人

文化堂
御蔵入

乙卯
 文正公集
 卷八

朱書

一、田畝及山林

上國之寶

法書苑

卷之六

中國書畫

中興家下

神

元祐中書
天德寺僧人入

元澤先生書

元氣

毛

王儒是 族弟人

文之爲物

卷之五

行公

好八

文化之源泉

未入

古

7

大

人元

張

一、田畝及山林

上國之寶

法書苑

卷之六

中國書畫

中興家下

神

元祐中書
天德寺
大正六年
張鑑
入

元澤先生書

元氣

毛

王儒是 族弟人

文之爲物

卷之五

朱書

北条氏時義正公の
 一 田七郎正公 之 臣 氏時 氏義正 氏時義正 氏時義正

源氏

一 中田正公 之 臣 氏時 氏義正 氏時義正 氏時義正

一 中田正公 之 臣 氏時 氏義正 氏時義正 氏時義正

一 中田正公 之 臣 氏時 氏義正 氏時義正 氏時義正

一 中田正公 之 臣 氏時 氏義正 氏時義正 氏時義正

此

一 新編 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之
二 新編 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之
三 新編 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之
四 新編 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之
五 新編 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之
六 新編 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之
七 新編 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之
八 新編 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之
九 新編 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之
十 新編 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之

新編 妙法蓮華經

一 新編 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之

二 新編 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之

三 新編 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之

四 新編 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之

五 新編 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之 妙法蓮華經 卷上 之

六 新編 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之 妙法蓮華經 卷中 之

七 新編 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之 妙法蓮華經 卷下 之

朱書

元弘四年十月一日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

信濃守の御下

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

一。上田山崎村に在る程氏人

元弘七年九月九日

元弘七年九月九日

朱書

[illegible]

朱書

Handwritten text in cursive script (sōsho) on a piece of paper, likely a letter or a note. The text is written in black ink and is somewhat faded. It appears to be a personal communication, possibly a letter to a friend or a family member. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style.

Handwritten text in cursive script (sōsho) on a piece of paper. The text is written in black ink and is somewhat faded. It appears to be a personal communication, possibly a letter to a friend or a family member. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style.

Handwritten text in cursive script (sōsho) on a piece of paper. The text is written in black ink and is somewhat faded. It appears to be a personal communication, possibly a letter to a friend or a family member. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style.

朱書

王國維先生

卷之六

張

清

一上國取新步

元正
王保聖王行義

病下肉

一、九、能、之、步。

元々
五律
五律
五律

宿志未已

一九五二年

三條のふりかへ

卷之五

一、田賦

[illegible]

一 山田三郎八

王國三主水長年入
高和元西書

二 山田三郎

三條のゆき
文化をふたつゆき入

三 山田三郎

文化をふたつゆき入
文化をふたつゆき入

四 山田三郎

文化をふたつゆき入
文化をふたつゆき入

五 山田三郎

山田三郎

一 山田三郎

文化をふたつゆき入

二 山田三郎

文化をふたつゆき入

三 山田三郎

文化をふたつゆき入

四 山田三郎

文化をふたつゆき入

山陽府内
林栖抄
元禄七年
文政七年
少名入

海老

山陽府内
一 上田家
元禄七年
文政七年
少名入
一 山陽府内
元禄七年
文政七年
少名入
一 山陽府内
元禄七年
文政七年
少名入
一 山陽府内
元禄七年
文政七年
少名入
一 山陽府内
元禄七年
文政七年
少名入


 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百
 一百一
 一百二
 一百三
 一百四
 一百五
 一百六
 一百七
 一百八
 一百九
 二百
 二百一
 二百二
 二百三
 二百四
 二百五
 二百六
 二百七
 二百八
 二百九
 三百
 三百一
 三百二
 三百三
 三百四
 三百五
 三百六
 三百七
 三百八
 三百九
 四百
 四百一
 四百二
 四百三
 四百四
 四百五
 四百六
 四百七
 四百八
 四百九
 五百
 五百一
 五百二
 五百三
 五百四
 五百五
 五百六
 五百七
 五百八
 五百九
 六百
 六百一
 六百二
 六百三
 六百四
 六百五
 六百六
 六百七
 六百八
 六百九
 七百
 七百一
 七百二
 七百三
 七百四
 七百五
 七百六
 七百七
 七百八
 七百九
 八百
 八百一
 八百二
 八百三
 八百四
 八百五
 八百六
 八百七
 八百八
 八百九
 九百
 九百一
 九百二
 九百三
 九百四
 九百五
 九百六
 九百七
 九百八
 九百九
 一千
 一千一
 一千二
 一千三
 一千四
 一千五
 一千六
 一千七
 一千八
 一千九
 二千
 二千一
 二千二
 二千三
 二千四
 二千五
 二千六
 二千七
 二千八
 二千九
 三千
 三千一
 三千二
 三千三
 三千四
 三千五
 三千六
 三千七
 三千八
 三千九
 四千
 四千一
 四千二
 四千三
 四千四
 四千五
 四千六
 四千七
 四千八
 四千九
 五千
 五千一
 五千二
 五千三
 五千四
 五千五
 五千六
 五千七
 五千八
 五千九
 六千
 六千一
 六千二
 六千三
 六千四
 六千五
 六千六
 六千七
 六千八
 六千九
 七千
 七千一
 七千二
 七千三
 七千四
 七千五
 七千六
 七千七
 七千八
 七千九
 八千
 八千一
 八千二
 八千三
 八千四
 八千五
 八千六
 八千七
 八千八
 八千九
 九千
 九千一
 九千二
 九千三
 九千四
 九千五
 九千六
 九千七
 九千八
 九千九
 一万
 一万一
 一万二
 一万三
 一万四
 一万五
 一万六
 一万七
 一万八
 一万九
 二万
 二万一
 二万二
 二万三
 二万四
 二万五
 二万六
 二万七
 二万八
 二万九
 三万
 三万一
 三万二
 三万三
 三万四
 三万五
 三万六
 三万七
 三万八
 三万九
 四万
 四万一
 四万二
 四万三
 四万四
 四万五
 四万六
 四万七
 四万八
 四万九
 五万
 五万一
 五万二
 五万三
 五万四
 五万五
 五万六
 五万七
 五万八
 五万九
 六万
 六万一
 六万二
 六万三
 六万四
 六万五
 六万六
 六万七
 六万八
 六万九
 七万
 七万一
 七万二
 七万三
 七万四
 七万五
 七万六
 七万七
 七万八
 七万九
 八万
 八万一
 八万二
 八万三
 八万四
 八万五
 八万六
 八万七
 八万八
 八万九
 九万
 九万一
 九万二
 九万三
 九万四
 九万五
 九万六
 九万七
 九万八
 九万九
 十万
 十万一
 十万二
 十万三
 十万四
 十万五
 十万六
 十万七
 十万八
 十万九
 十一万
 十一万一
 十一万二
 十一万三
 十一万四
 十一万五
 十一万六
 十一万七
 十一万八
 十一万九
 十二万
 十二万一
 十二万二
 十二万三
 十二万四
 十二万五
 十二万六
 十二万七
 十二万八
 十二万九
 十三万
 十三万一
 十三万二
 十三万三
 十三万四
 十三万五
 十三万六
 十三万七
 十三万八
 十三万九
 十四万
 十四万一
 十四万二
 十四万三
 十四万四
 十四万五
 十四万六
 十四万七
 十四万八
 十四万九
 十五万
 十五万一
 十五万二
 十五万三
 十五万四
 十五万五
 十五万六
 十五万七
 十五万八
 十五万九
 十六万
 十六万一
 十六万二
 十六万三
 十六万四
 十六万五
 十六万六
 十六万七
 十六万八
 十六万九
 十七万
 十七万一
 十七万二
 十七万三
 十七万四
 十七万五
 十七万六
 十七万七
 十七万八
 十七万九
 十八万
 十八万一
 十八万二
 十八万三
 十八万四
 十八万五
 十八万六
 十八万七
 十八万八
 十八万九
 十九万
 十九万一
 十九万二
 十九万三
 十九万四
 十九万五
 十九万六
 十九万七
 十九万八
 十九万九
 二十万
 二十万一
 二十万二
 二十万三
 二十万四
 二十万五
 二十万六
 二十万七
 二十万八
 二十万九
 二十一万
 二十一万一
 二十一万二
 二十一万三
 二十一万四
 二十一万五
 二十一万六
 二十一万七
 二十一万八
 二十一万九
 二十二万
 二十二万一
 二十二万二
 二十二万三
 二十二万四
 二十二万五
 二十二万六
 二十二万七
 二十二万八
 二十二万九
 二十三万
 二十三万一
 二十三万二
 二十三万三
 二十三万四
 二十三万五
 二十三万六
 二十三万七
 二十三万八
 二十三万九
 二十四万
 二十四万一
 二十四万二
 二十四万三
 二十四万四
 二十四万五
 二十四万六
 二十四万七
 二十四万八
 二十四万九
 二十五万
 二十五万一
 二十五万二
 二十五万三
 二十五万四
 二十五万五
 二十五万六
 二十五万七
 二十五万八
 二十五万九
 二十六万
 二十六万一
 二十六万二
 二十六万三
 二十六万四
 二十六万五
 二十六万六
 二十六万七
 二十六万八
 二十六万九
 二十七万
 二十七万一
 二十七万二
 二十七万三
 二十七万四
 二十七万五
 二十七万六
 二十七万七
 二十七万八
 二十七万九
 二十八万
 二十八万一

川原尾
清原善藏入

二 田部

2 安邦之政
元保人壽

一、田口双井八下

天保八年考和文

竹田院 弘安十一年

二 田中女下元

菊角差市七十八

文化三年
五月廿七日
壬午

○上馬之次第

出方えり人 ちのい

山細之原下

二、西彩細意亦不徒然

山田

西新畑之町

元陽子夏李氏并入

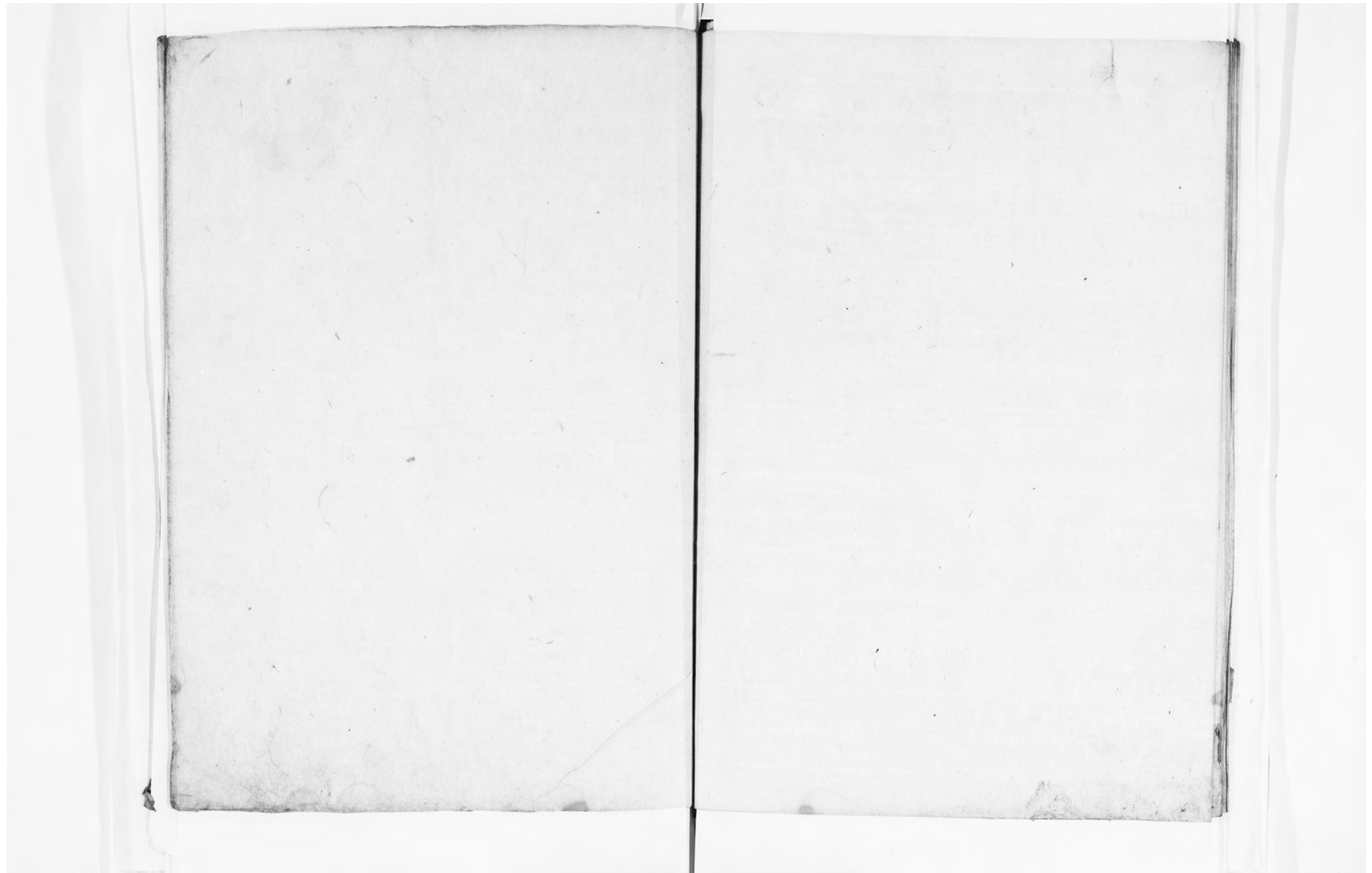
○ 乃烟珍之香

○ 花鳥図
元禄庚子 念四 八
文公画 江戸 八

此乃家藏之書

一、南家拾分、之長

王孫 小石 板 卷二



汗の跡

一。桐王殿上少。之。之。之。

一。桐王殿上少。之。之。之。

一。桐王殿上少。之。之。之。

一。桐王殿上少。之。之。之。

生る

一。桐王殿上少。之。之。之。

一。桐王殿上少。之。之。之。

一。桐王殿上少。之。之。之。

一。桐王殿上少。之。之。之。

菊
一 園新紙抄
二 園新紙抄
三 園新紙抄

一 園新紙抄
二 園新紙抄
三 園新紙抄

一 園新紙抄
二 園新紙抄
三 園新紙抄

一 園新紙抄
二 園新紙抄
三 園新紙抄

朱書

○ 1. 中国の歴史	中国の歴史	中国の歴史
○ 2. 中国の地理	中国の地理	中国の地理
○ 3. 中国の政治	中国の政治	中国の政治
○ 4. 中国の経済	中国の経済	中国の経済
○ 5. 中国の文化	中国の文化	中国の文化
○ 6. 中国の宗教	中国の宗教	中国の宗教
○ 7. 中国の法律	中国の法律	中国の法律
○ 8. 中国の教育	中国の教育	中国の教育
○ 9. 中国の科学	中国の科学	中国の科学
○ 10. 中国の芸術	中国の芸術	中国の芸術

漢書

○ 1. 漢書	漢書	漢書
○ 2. 漢書	漢書	漢書
○ 3. 漢書	漢書	漢書
○ 4. 漢書	漢書	漢書
○ 5. 漢書	漢書	漢書
○ 6. 漢書	漢書	漢書
○ 7. 漢書	漢書	漢書
○ 8. 漢書	漢書	漢書
○ 9. 漢書	漢書	漢書
○ 10. 漢書	漢書	漢書

朱書

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

一、山崎の歌

山崎の歌

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

元書

箱内
二 瓶

之

之

之
之
之

傳

箱内

一 瓶

之

之

箱内

一 瓶

之

之

箱内

一 瓶

之

之

新相 長久寺

新相 長久寺

新相 長久寺

新相 長久寺

新相 長久寺

新相 長久寺

新相 長久寺

新相 長久寺

新相 長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

長久寺

朱書

山田十下田

惣書

一。山田十下田。主書

書曰。山田十下田。主書。托り

なり

一。山田十下田。主書

書曰。山田十下田。主書。托り

なり

一。山田十下田。主書

書曰。山田十下田。主書。托り

なり

一。山田十下田。主書

書曰。山田十下田。主書。托り

朱書

たゞしきり

一。細く歩。

人書
并て入

古本

たゞしきり

一。細く歩。

一。細く歩。

一。細く歩。

一。細く歩。

一。細く歩。

一。細く歩。

朱書

竹園後及ふみすり

○不國勢下

えきり

久保田の所をとりしめ

ふしめき下し天化十三

天化十三
天化十三
天化十三

○一苗を町敷給ふ

天化四卯
天化四卯
天化四卯

中を称する事少なり

天化四卯

南角をぬき下し

○上角之町所を

天化四卯

山細の町所を

えきり

○新田をぬき下し

天化四卯

中をぬき下し

えきり

○中田をぬき下し

天化四卯

山角をぬき下し

えきり

○中田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

○付田をぬき下し

天化四卯

朱書

山崎のり
 ① 細粉古虫
 ② 細粉古虫
 ③ 細粉古虫
 ④ 細粉古虫
 ⑤ 細粉古虫
 ⑥ 細粉古虫
 ⑦ 細粉古虫
 ⑧ 細粉古虫
 ⑨ 細粉古虫
 ⑩ 細粉古虫

之如志
 之如志
 之如志
 之如志
 之如志
 之如志
 之如志
 之如志
 之如志
 之如志

平家

坂上 須賀 下 内
 ① 細粉古虫
 ② 細粉古虫
 ③ 細粉古虫
 ④ 細粉古虫
 ⑤ 細粉古虫
 ⑥ 細粉古虫
 ⑦ 細粉古虫
 ⑧ 細粉古虫
 ⑨ 細粉古虫
 ⑩ 細粉古虫

朱書

角部

一 田

元

元

元

部

一 田

元

一 田

元

一 田

元

一 田

元

元

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

朱書

中々三三三三三
一、中々三三三三三
二、中々三三三三三
三、中々三三三三三
四、中々三三三三三
五、中々三三三三三
六、中々三三三三三
七、中々三三三三三
八、中々三三三三三
九、中々三三三三三
十、中々三三三三三

三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三

一、中々三三三三三
二、中々三三三三三
三、中々三三三三三
四、中々三三三三三
五、中々三三三三三
六、中々三三三三三
七、中々三三三三三
八、中々三三三三三
九、中々三三三三三
十、中々三三三三三

三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三
三三三三三

川原三三三三三
一、中々三三三三三
二、中々三三三三三
三、中々三三三三三
四、中々三三三三三
五、中々三三三三三
六、中々三三三三三
七、中々三三三三三
八、中々三三三三三
九、中々三三三三三
十、中々三三三三三

朱書

中
一 中
二 中
三 中
四 中
五 中
六 中
七 中
八 中
九 中
十 中

一 中
二 中
三 中
四 中
五 中
六 中
七 中
八 中
九 中
十 中

一 中

元

天

川
一 中
二 中
三 中
四 中
五 中
六 中
七 中
八 中
九 中
十 中

書

一 中國七版之步
二 中國之版之步
三 中國之版之步

一 中國之版之步
二 中國之版之步
三 中國之版之步

一 中國之版之步
二 中國之版之步
三 中國之版之步

一 中國之版之步
二 中國之版之步
三 中國之版之步

中書省秘書監印

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

中書省

中書省

一、**田賦**。中書省

中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

中書省

一、**田賦**。中書省

一、**田賦**。中書省

中書省

中書省秘書監印

一 集

之西通

有以

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

有以

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

有以

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

有以

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

有以

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

有以

〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

有以

有以

朱書

中書三及五等分り

一 中書以候に少

えきり

文化九年、勅令

山相、御にりし

一 中書細三少

えきり

文化九年、勅令

中書細三少

一 中書細三少

えきり

文化九年、勅令

中書

一 中書細三少

えきり

文化九年、勅令

一 中書細三少

えきり

文化九年、勅令

一 中書細三少

えきり

文化九年、勅令

一 中書細三少

えきり

文化九年、勅令

たき、中書

一 中書細三少

えきり

文化九年、勅令

一 中書細三少

文化九年、勅令

中書

一 中書細三少

えきり

文化九年、勅令

一 中書細三少

文化九年、勅令

一 中書細三少

文化九年、勅令

仁孝

中書省及太常寺

一、中書省以核計

山相府以計

一、太常寺以計

中書省及太常寺

一、太常寺以計

中書省

一、太常寺以計

太常寺

一、太常寺以計

一、太常寺以計

一、太常寺以計

一、太常寺以計

元嘉

元嘉

元嘉

元嘉

元嘉

元嘉

元嘉

元嘉

元嘉九年

元嘉九年

元嘉九年

元嘉九年

元嘉九年

元嘉九年

元嘉九年

元嘉九年

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

仁壽

久遠

信物

● 市田 廿四日 元禄

乃 市田 廿四日

● 市田 廿四日 元禄

● 市田

● 市田 廿四日 元禄

● 市田 廿四日

● 市田 廿四日 元禄

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

九分三厘半

山田一太郎

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

中々

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

山田一太郎

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

山田一太郎

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

山田一太郎

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

一 田舎の歌
山田一太郎

えきり

山田一太郎

日本書

日本書

一 仙友仙友

仙友仙友

中書仙友

二 朱田江野

朱田江野

三 西新相教

西新相教

四 相友

相友

五 相友

相友

相友

六 相友

七 相友

相友

八 相友

九 相友

相友

十 相友

十一 相友

相友

十二 相友

十三 相友

相友

十四 相友

十五 相友

相友

九

ア、此を芝草の葉の

五

三才圖會

江表後書

二
三
四
五
六
七
八
九
十

高田 九郎 永隆

福

張氏

二條道也 弘安四年

三ノ入

之世古之人

人之病

蘇東坡詩集

不長為
可出
作

名久 五十年

之佳處

南無三尊

のちろそとふ

十四

万石の石

書

山姥
三ノノチノチ

三

江戸下町

一、
古
二、
三、

之申
送來之書

乙卯
壬辰

之九集

卷之六

古史記

何三

2

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

○ 石田文吉の才力之如きは 江戸の東に如く入

云

一 中田山崎

之

中田山崎

内山山崎

一 中田山崎

之

文化

中田山崎

一 中田山崎

之

中田山崎

一 中田山崎

之

三

山田十人内

一 山田十人内

宿家女下内

一 山田十人内

宿家女下内

一 山田十人内

宿家女下内

一 山田十人内

朱

一 山田十人内

文化九年申辰入

宿家女下内

一 山田十人内

文化九年申辰入

宿家女下内

一 山田十人内

宿家女下内

一 山田十人内

文化九年申辰入

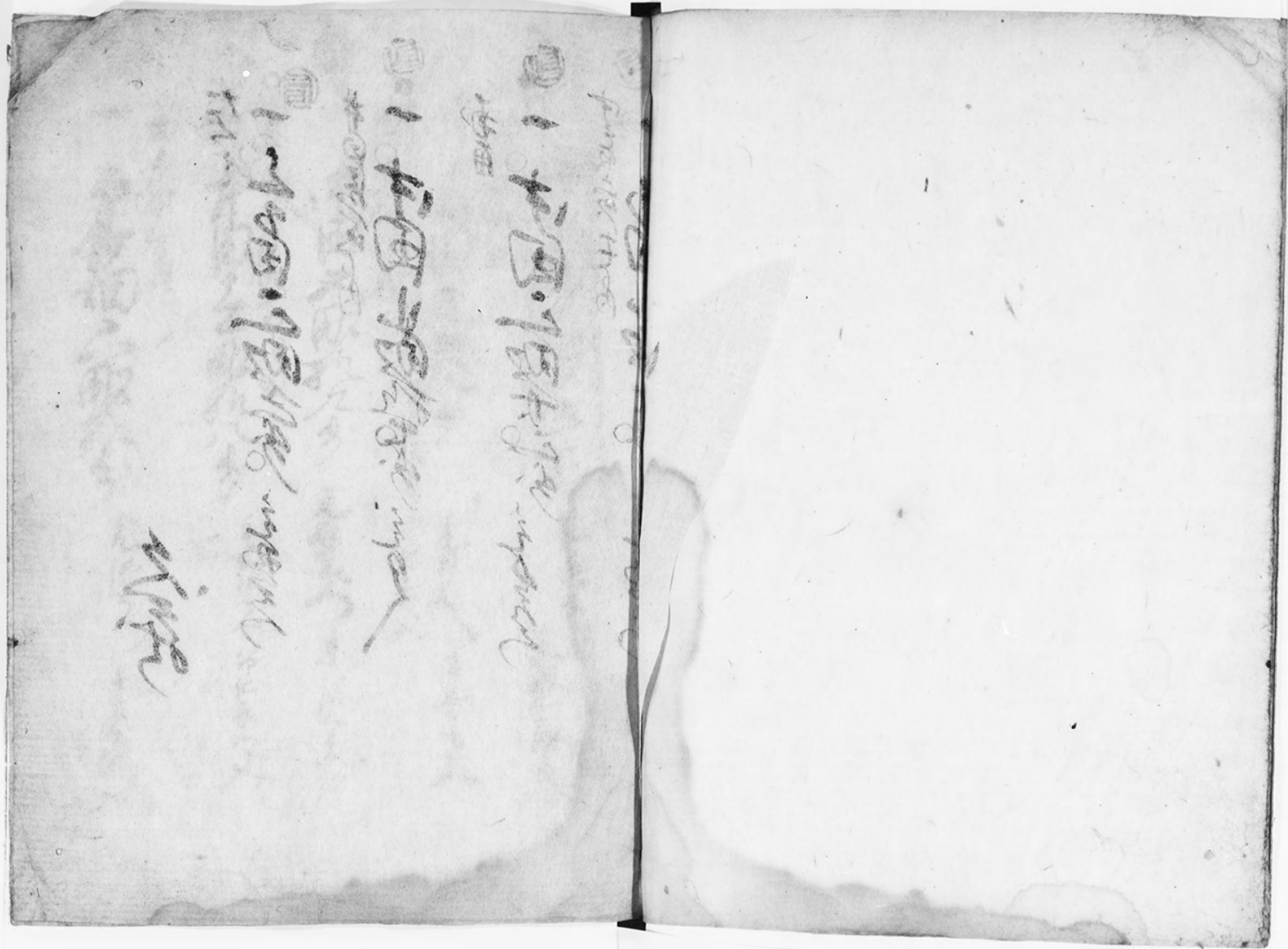
一 山田十人内

宿家女下内

一 山田十人内

文化九年申辰入

文化九年申辰入



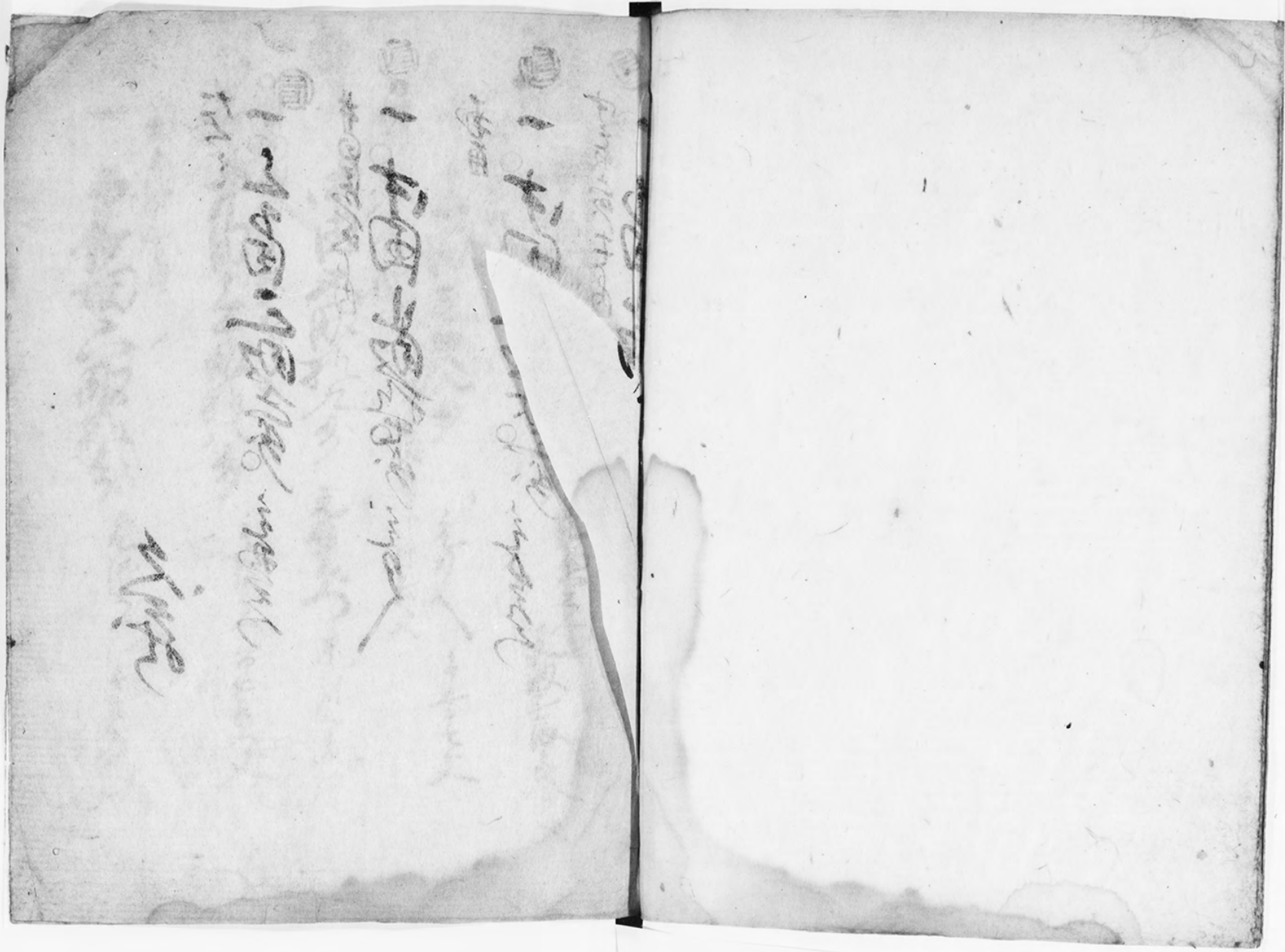
ふみしる

ふみしる

ふみしる

ふみしる

ふみしる



50.0

久新

たし

一。上田之取歩。之取歩

井田之取歩

一。中田之取歩。之取歩

井田

一。下田之取歩。之取歩

井田之取歩

井田

一。中田之取歩。之取歩

たし

一。上田之取歩。之取歩

井田之取歩

一。中田之取歩。之取歩

井田之取歩

一。下田之取歩。之取歩

井田之取歩

一。中田之取歩。之取歩

井田

朱書

一 石 杉 桐 之 堅 也 之 堅 也 石 堅
木 之 堅 也 石 堅
 一 石 杉 桐 之 堅 也 之 堅 也 石 堅
木 之 堅 也 石 堅
 一 石 杉 桐 之 堅 也 之 堅 也 石 堅
木 之 堅 也 石 堅
 一 石 杉 桐 之 堅 也 之 堅 也 石 堅
木 之 堅 也 石 堅
 一 石 杉 桐 之 堅 也 之 堅 也 石 堅
木 之 堅 也 石 堅
 一 石 杉 桐 之 堅 也 之 堅 也 石 堅
木 之 堅 也 石 堅